



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社セルシード 上場取引所 東
 コード番号 7776 URL <http://www.cellseed.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 せつ子
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 小野寺 純 TEL 03-6380-7490
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	26	△6.7	△457	—	△390	—	△390	—
28年12月期第2四半期	28	△5.1	△450	—	△449	—	△447	—

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 △387百万円 (—%) 28年12月期第2四半期 △523百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	△40.47	—
28年12月期第2四半期	△49.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第2四半期	1,491	1,367	90.7	129.90
28年12月期	1,343	1,164	85.4	124.56

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 1,352百万円 28年12月期 1,147百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年12月期	—	0.00	—	—	—
29年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100	99.3	△1,250	—	△1,230	—	△1,230	—	△135.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期 2 Q	10,414,419株	28年12月期	9,214,419株
② 期末自己株式数	29年12月期 2 Q	127株	28年12月期	127株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期 2 Q	9,652,413株	28年12月期 2 Q	9,039,786株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に雇用・所得環境が改善するなど、引き続き緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、米国の経済政策運営や中国を始めとするアジア新興諸国の経済動向など、海外経済の不確実性の高まりによる国内景気への影響が懸念されています。

当社グループを取り巻く先端医療・再生医療分野におきましては、国内の複数企業にて患者自身の組織からの作製だけでなく、他人の組織から作製して備蓄した細胞を使う再生医療製品の実用化に向けた投資を促進する旨のリリースが見られました。

以上のような環境の下、当社グループは再生医療支援事業及び細胞シート再生医療事業における活動を推進いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は26,222千円(前年同四半期比1,868千円の減少)、営業損失は457,587千円(前年同四半期比6,969千円の増加)、経常損失は390,163千円(前年同四半期比59,431千円の減少)、親会社株主に帰属する四半期純損失は390,638千円(前年同四半期比57,123千円の減少)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 再生医療支援事業

再生医療支援事業では、温度応答性細胞培養器材に関する研究開発活動に取り組みました。また販売面では、販売促進活動に取り組みつつ、引き続き新規導入商材の開発に向けた探索・選定活動を推進いたしました。

以上のような活動の結果、売上高は26,222千円(前年同四半期1,868千円の減少)、営業損失は60,143千円(前年同四半期比13,397千円の増加)となりました。

② 細胞シート再生医療事業

細胞シート再生医療事業では、食道再生上皮シート及び軟骨再生シートの細胞シート再生医療製品パイプラインの自社開発を中心とした研究開発を推進しております。

平成29年4月には、台湾の事業提携先であるMetaTech社との独占的事業提携契約の調印式を台北市にて台湾政府要人にも参列頂き、実施いたしました。契約調印以降、実務者レベルでの具体的な技術移転作業を開始いたしました。

6月には、国立研究開発法人 日本医療研究開発機構が公募した平成29年度「再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業(再生医療等の産業化に向けた評価手法等の開発)」に、当社を代表機関とし、東海大学および株式会社DNAチップ研究所を分担機関とした研究開発項目が採択されました。

また6月17日～20日に米国サンディエゴで開催された、「2017Bio International展示会」に参加いたしました。同展示会は、米国を中心とした多くのバイオ関連企業が参加しており、当社も今後の海外における細胞シート再生医療事業の提携候補先の調査・探索を目的として出展し、複数の製薬企業・米国州商務部等との面談を実施いたしました。

以上のような活動の結果、営業損失は239,174千円(前年同四半期比11,103千円の減少)となりました。(当該事業は現在事業化準備段階にありますので、売上高計上には至っておりません。)

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて147,931千円増加し、1,407,414千円となりました。これは主に、現金及び預金が275,958千円増加したことによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて148,156千円増加し、1,491,673千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて52,527千円減少し、123,635千円となりました。これは主に、前受金が32,685千円減少したことによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて55,017千円減少し、124,050千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて203,174千円増加し、1,367,622千円となりました。これは主に、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ296,525千円増加する一方、親会社株主に帰属する四半期純損失390,638千円を計上したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前第2四半期連結会計期間末に比べて280,715千円減少し1,332,348千円となりました。当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動に使用した資金は312,074千円(前年同四半期比69,358千円の支出減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失390,163千円を計上したことなどによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果支出した資金は2,462千円(前年同四半期は232,210千円の支出)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出2,462千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は、588,156千円となりました(前年同四半期は232,650千円の収入)。これは、新株予約権の行使による新株発行の収入586,260千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成29年2月16日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,056,389	1,332,348
売掛金	59,791	8,425
商品及び製品	28,640	26,573
貯蔵品	4,520	3,229
前払費用	15,006	11,800
その他	95,134	25,037
流動資産合計	1,259,483	1,407,414
固定資産		
有形固定資産	21,704	22,109
投資その他の資産	62,328	62,149
固定資産合計	84,033	84,258
資産合計	1,343,516	1,491,673
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,522	2,609
未払金	72,945	61,343
未払法人税等	6,169	4,721
前受金	62,544	29,859
その他	28,980	25,100
流動負債合計	176,163	123,635
固定負債		
その他	2,904	414
固定負債合計	2,904	414
負債合計	179,067	124,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,969,436	3,265,961
資本剰余金	191,233	487,758
利益剰余金	△1,998,503	△2,389,141
自己株式	△201	△201
株主資本合計	1,161,964	1,364,376
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△14,204	△11,508
その他の包括利益累計額合計	△14,204	△11,508
新株予約権	16,688	14,755
純資産合計	1,164,448	1,367,622
負債純資産合計	1,343,516	1,491,673

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	28,090	26,222
売上原価	12,177	11,822
売上総利益	15,913	14,399
販売費及び一般管理費		
研究開発費	234,419	251,782
その他	232,112	220,205
販売費及び一般管理費合計	466,532	471,987
営業損失(△)	△450,618	△457,587
営業外収益		
受取利息	191	6
保険返戻金	1,352	—
補助金収入	—	72,581
その他	1,095	2,157
営業外収益合計	2,639	74,746
営業外費用		
為替差損	129	386
株式交付費	1,486	2,970
支払手数料	—	3,709
その他	—	255
営業外費用合計	1,615	7,321
経常損失(△)	△449,594	△390,163
税金等調整前四半期純損失(△)	△449,594	△390,163
法人税、住民税及び事業税	735	475
法人税等調整額	△2,567	—
法人税等合計	△1,832	475
四半期純損失(△)	△447,761	△390,638
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△447,761	△390,638

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△447,761	△390,638
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△75,276	2,695
その他の包括利益合計	△75,276	2,695
四半期包括利益	△523,038	△387,942
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△523,038	△387,942
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△449,594	△390,163
減価償却費	4,175	2,236
受取利息	△191	△6
為替差損益(△は益)	17	168
補助金収入	—	△72,581
株式交付費	—	2,970
雑収入	—	△229
支払手数料	—	3,709
株式報酬費用	3,637	—
売上債権の増減額(△は増加)	13,326	51,463
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,382	3,358
その他の流動資産の増減額(△は増加)	23,980	73,382
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,091	△2,912
未払金の増減額(△は減少)	△5,132	△15,081
前受金の増減額(△は減少)	—	1,504
その他の流動負債の増減額(△は減少)	7,349	△8,156
小計	△404,906	△350,336
利息の受取額	165	6
補助金の受取額	24,518	39,205
法人税等の支払額	△1,210	△950
営業活動によるキャッシュ・フロー	△381,432	△312,074
投資活動によるキャッシュ・フロー		
敷金の回収による収入	625	—
有形固定資産の取得による支出	△232,835	△2,462
投資活動によるキャッシュ・フロー	△232,210	△2,462
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	232,650	586,260
新株予約権の発行による収入	—	6,600
新株予約権の買入消却による支出	—	△4,704
財務活動によるキャッシュ・フロー	232,650	588,156
現金及び現金同等物に係る換算差額	△73,550	2,339
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△454,543	275,958
現金及び現金同等物の期首残高	2,067,607	1,056,389
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,613,063	1,332,348

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、新株予約権の行使に伴う新株の発行により、当第2四半期連結会計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ296,525千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が3,265,961千円、資本準備金が487,758千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年1月1日至平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント（注）1			調整額 （注）2	四半期連結 損益計算書 計上額 （注）3
	再生医療支援 事業	細胞シート 再生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,090	—	28,090	—	28,090
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	28,090	—	28,090	—	28,090
セグメント損失（△）	△46,746	△250,278	△297,024	△153,594	△450,618

(注) 1 再生医療支援事業は既に製品を販売して売上高を計上しておりますが、細胞シート再生医療事業は現在、事業化準備段階にありますので、売上高計上には至っておりません。

2 セグメント損失の調整額△153,594千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年1月1日至平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント（注）1			調整額 （注）2	四半期連結 損益計算書 計上額 （注）3
	再生医療支援 事業	細胞シート 再生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,222	—	26,222	—	26,222
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	26,222	—	26,222	—	26,222
セグメント損失（△）	△60,143	△239,174	△299,318	△158,269	△457,587

(注) 1 再生医療支援事業は既に製品を販売して売上高を計上しておりますが、細胞シート再生医療事業は現在、事業化準備段階にありますので、売上高計上には至っておりません。

2 セグメント損失の調整額△158,269千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当社新株予約権の行使による資金調達の実施等により、前連結会計年度末の手元資金（現金及び預金）残高は1,056,389千円となり、財務基盤については一定水準を保持して推移しております。一方で事業面におきましては細胞シート再生医療事業の重要課題である細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の道程を示すまでには至っておりません。以上のことから、当社グループは当四半期連結会計期間において、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在していると判断しております。

当社グループは当該状況の解消を図るべく、引き続き以下の施策に取り組んでおります。

当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の実現と器材事業の拡充による収益機会の獲得

当社グループは、今後、食道再生上皮シート並びに軟骨再生シートの開発を推進し、当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化を実現すること、また再生医療製品の関連周辺機器の開発を拡充し、更なる収益機会を獲得していくことで当該状況の解消を図って参ります。